

特別委員会の 中間報告(要旨)

第1回臨時会において、総合交通対策調査特別委員会、子ども・子育て支援対策調査特別委員会、災害・オウム対策調査特別委員会及びエリアデザイン調査特別委員会が中間報告書を提出しました。

報告の要旨は次のとおりです。

総合交通対策 調査特別委員会

本特別委員会は、総合交通対策に関する調査研究を進めてきた。

足立区総合交通計画及び足立区 地域公共交通計画について

区は、バス路線の維持や再編として、昨年度からはるかぜ路線の協働事業を開始し、地域内交通導入サポート制度では、花畑、常東地区にて本年中の実証実験開始に向けた取り組みを進めてきた。相次ぐはるかぜ路線の運行終了等は区民生活に影響を与えており、交通弱者への既存公共交通の確保と、バス路線の縮小を踏まえた地域交通課題に対応する持続可能な移動手段確保の検討が必要である。

なお、昨年10月に区議会は、「すべての足立区民が交通弱者とならないよう持続可能な交通手段の実現を求める決議」を議決した。すべての区民の交通手段を保障するための施策に、一刻も早く取り組むことを区に強く求めるものである。

足立区交通安全計画について

自転車利用における交通ルールの順守や通学路の安全確保、交通安全教育等、子どもに対する事故防止対策について関係機関と連携を図りながら、区民の安心・安全な自転車の利活用を推進していく必要がある。



地下鉄8号線延伸等の実現に向け、周辺自治体との促進協議会の開催や調査研究を行ってきた。今後も関係自治体が協調し、沿線開発やイベント等でのPR活動を通じて地域の機運醸成を図っていく必要がある。

鉄道網の強化等について

新規開設や受入数の拡大等を行ったが、今年度の学童保育室入室申請件数は受入可能数を上回った。今後も、地区ごとのニーズを見極めながら、適切な施設の整備・拡充が必要である。

子どもの貧困対策及び若年者支援について

若者の意見を区政へ反映させることを目的とした「アダチ若者会議」を昨年度から設置した。若者から直接聴いた意見を今年度中に策定予定のことも計画に活用することが重要であり、若者の意見を自らが実現できるよう、更なる取り組みに発展させていくことが求められる。

妊産婦支援について

区は、妊娠・出産・子育て期までの切れ目のない支援の充実を目的に、今年度から助産師による訪問型産後ケア事業や約4千世帯への家庭訪問事業を開始する。今後も各事業の実施機関連の数や利用日数の拡大等、支援体制の更なる充実が求められる。

子ども・子育て支援対策 調査特別委員会

本特別委員会は、子ども・子育て支援対策に関する調査研究を進めてきた。

子ども・子育て支援対策 調査特別委員会



等に関する調査研究を進めてきた。

災害・減災対策について

区は、新たに防災戦略課を設立し、備蓄食料品の3日分への増備蓄を進めているが、備蓄スペースの確保や備蓄倉庫の浸水深等、改善していく必要がある。また、避難行動要支援者の実情に応じた個別避難計画の作成支援に取り組んでおり、今後も計画の実効性を高めると共に、新たな避難先の拡充等を進めていく必要がある。

地域防災計画について

都が公表した首都直下型地震の新たな被害想定を受け、大地震に対する備えを一層強化してきた。能登半島地震や防災会議で挙げた調査内容、帰宅困難者等の対策を地域防災計画に加えていく必要がある。



地区防災計画について

区は、計画の新規策定や見直しのためのワークショップの開催等を支援している。住民の安全な避難や地域の防災力向上のため、コミュニティタイムライン策定支援の継続を要望する。

放射能対策について

区有施設の放射性物質埋設箇所の公表や線量の再測定を実施し、保健医療活動等の内容を充実させて地域防災計画に反映した。今後も区民の安心・安全に向けた情報発信が求められる。

オウム真理教(アレフ)対策について

本特別委員会は、災害対策及びオウム真理教(アレフ)対策

された。また、本年2月には「足立区地下鉄サリン事件風化防止啓発推進条例」を制定した。今後も区民・区議会・区が一丸と、毅然とした姿勢で臨んでいかなければならない。

エリアデザイン 調査特別委員会

本特別委員会は、エリアデザインの推進等に関する調査研究を進めてきた。

各地域のエリアデザインについて

綾瀬・北綾瀬エリアでは、旧こども家庭支援センター等跡地活用地元への丁寧な説明と共に、地元からの要望を把握し、地域に喜ばれる施設の設置を要望する。今後は、綾瀬・北綾瀬ゾーンが連携した回遊性のあるまちづくりの推進を要望する。

花畑エリアでは、更なるにぎ

わい創出や地域の特徴を踏まえた魅力あるまちづくりを進めると共に、積極的な大学連携や新規事業の実施を求める。



六町エリアでは、駅前区有地

活用事業の抜本的な見直しが必要となったが、地域住民への丁寧な説明を行い、子育て安心・文化のまちを生かしたエリアデザインの推進を要望する。

江北エリアでは、「すこやか

プラザ あだち」が開設、上沼田東公園が改装し、高野小学校跡地スポーツ施設の開設が予定されている。今後も周辺環境整備を着実に進めることを求める。

西新井・梅島エリアでは、西新井駅周辺施設等の動向を注視しつつ、東西通行機能の向上等、早期改善を求めると共に、梅田八丁目複合施設の整備等、まちづくりの機運醸成を要望する。

竹の塚エリアでは、「人が主

役のまちづくり」に取り組んでいる。地域住民の意見を中心に据え、UR都市機構等と協議を図り、安心・安全な魅力あるまちづくりの推進を求める。

千住エリアでは、京成関屋・

牛田駅周辺のまちづくり、北千住駅東口周辺の再開発の動きや千住大川端地区、千住大橋駅周辺等の大規模開発計画について現地視察を行い、委員の認識を深めた。今後も各地区の課題を整理した計画の策定を要望する。本特別委員会は、建設的な議論をより一層重ね、調査研究を続けていく必要がある。

表彰

全国市議会議長会より、足立区議会議員5名が表彰されました

特別表彰（在職20年以上）市川おさと議員

一般表彰（在職10年以上）山中藤中議員

伊藤のぶき議員

岡田将和議員

長井まさのり議員

たがた直昭議員

石毛かずあき議員

会派役員の紹介

足立区議会自由民主党

相談役 白石 正輝

団長 工藤 てつや

幹事長 伊藤のぶき

副幹事長 くじらい 実

岡田 将和

足立区議会公明党

団長 長井まさのり

副団長 小泉 ひろし

同 佐々木さひこ

幹事長 たがた 直昭

副幹事長 石毛かずあき

同 さの 智恵子

日本共産党足立区議団

団長 ぬかが 和子

幹事長 はたの 昭彦

副幹事長 山中 ちえ子

是々非々の会(維新・参政・無所属)

幹事長 へんみ 圭二

副幹事長 富田けんたろう

都民ファースト・無所属の会

幹事長 中島こういちろう

副幹事長 佐藤 あい

同 川村 みこと

足立区議会改革を 全力で推し進める会

幹事長 土屋 のりこ

副幹事長 長谷川たかこ

編集後記

各会派役員変更に伴い、広報委員会の構成も変わりました。今後も、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに努めます。

【広報委員会委員】

(議長) ただ 太郎

(副議長) くぼた 美幸

(議会運営委員長) 工藤 てつや

伊藤のぶき

くじらい 実

岡田 将和

長井まさのり

たがた 直昭

石毛かずあき